

令和3年度 全国学力・学習状況調査の結果の概要と 南河原小学校の今後の取組について

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき誠にありがとうございます。本校では、保護者や地域の多くの方々に学びの場を支えていただきながら、学校経営目標として次の4つを柱に教育活動を展開しております。

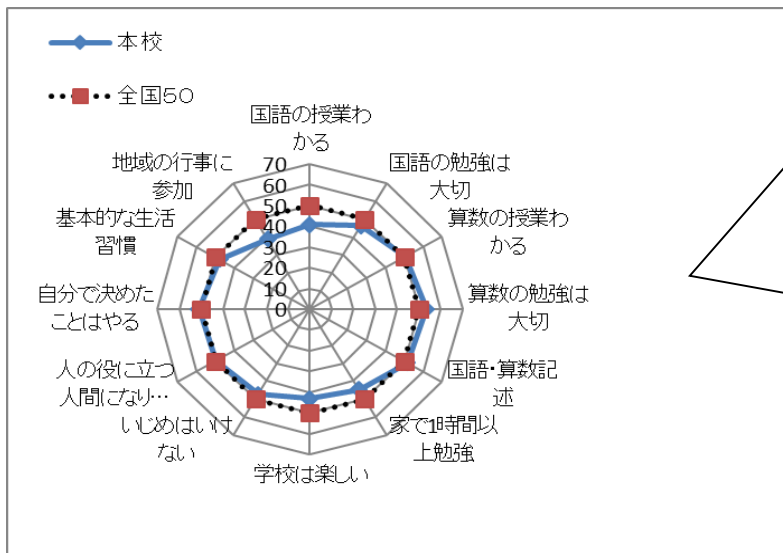
- (1) 豊かな心とたくましい実践力の育成
- (2) 確かな学力の育成と教職員の指導力の向上
- (3) 健康・体力の増進と安全・安心な学校生活づくり
- (4) 地域に根ざした特色ある学校づくり

このたび、5月27日(木)に6年生対象に実施されました全国学力・学習状況調査の結果ができました。学校経営目標を踏まえ、学校づくりに生かす視点から調査結果の分析と今後の取組についてご報告いたします。なお、この調査結果で測定できるのは学力の特定の一部であり、学校における教育活動の側面であることが調査の実施要領に示されております。本資料につきましては、本校の教育活動の成果と課題を把握するための一つの指標としてお考えいただければと存じます。

今後とも、児童のよりよい成長を促すための授業改善や教育活動の見直しに取り組んでまいりたいと思います。本調査の趣旨をご理解いただき、より一層のご支援ご協力をお願いいたします。

1. 本校の調査結果概要

数値は「当てはまる・どちらかという当てはまる」と回答したものです。



- 学習には全体的に前向きに取り組んでいます。「算数の授業がわかる」「算数の勉強は大切」「国語・算数の記述式問題」については全国平均を上回っています。一方で「国語の授業がわかる」「国語の勉強は大切」は、全国平均を下回っています。
- 「人の役に立つ人間になりたい」「自分で決めたことはやる」などの規範意識は全国平均を上回りよい状況と考えます。「学校は楽しい」「いじめはどんなことがあってもいけない」「地域の行事に参加」は、学校休業の影響からか全国平均を下回っています。
- 基本的な生活習慣では、「毎日朝食を食べる」「同じ時間に寝る・起きる」など、全国平均をやや下回っています。

※全国の結果を50とし、全国と本校の差を示したグラフです。

2. これまでの本校の取組と分析

本校では、人権尊重教育を基盤においたやさしさのある関わりづくりのために、たてわり活動、あいさつ運動、ゲストティーチャーからの学び等を大切にしてきました。また、各教科等における主体的・対話的活動の充実を進めるとともに、入り込みや取り出しによる指導、少人数でのグループ学習などを積極的に取り入れ、基礎学力の定着を図ってきました。これらの取組を踏まえ、今年度の学習状況調査の結果を分析いたしました。

① 豊かな心とたくましい実践力の育成

「人の役に立つ人間になりたい」「自分でやると決めたことはやる」はよい状況になっています。たてわり活動や体育的行事等における児童の主体的な活動を大切に考えた取組や、自己肯定感を高める人間関係づくりに向けて共生*共育プログラムの実施を進めてきた結果の表れと考えます。今後も、全職員が共通理解を図りながら、人権尊重教育の充実を進めていきます。

② 確かな学力の育成と教職員の指導力の向上

今年度も基礎学力の定着を重点目標として入り込みや取り出し等の学習支援の充実を図っております。「算数の授業がわかる」は85.3%と全国平均に比べて0.7ポイントほど上回っていますが、「国語の授業がわかる」については75%と9.2ポイントほど下回っています。学習のめあてや見通しをもたせ、「わかる・できた」を児童が実感できるような授業展開が図れるように、指導力の向上をめざします。国語・算数の記述式問題の正答は、全国平均に比べて1.5ポイント上回っています。子ども達の多様な考えを大切にしながら授業を進めてきている成果であると考えております。ここ数年の課題でもある家庭での学習については、1時間以上学習をしている割合が57.3%と全国平均をやや下回っています。「何のために学ぶのか」「学んだことが将来何につながるのか」など学ぶ意味や意義についても考えさせていきたいと思っております。

③ 健康・体力の増進と安全安心な学校生活づくり

「基本的な生活習慣」の中でも、「毎日同じくらいの時間に寝る」は、80.9%と全国平均と同じ位になっています。「朝食を毎日食べる」は92.6%と全国平均をやや下回っています。心身の健全な発達と確かな学力の定着には基本的な生活習慣の定着は欠かせません。引き続きご家庭のご協力をよろしく願いいたします。「いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う。」は、94.1%と全国平均をやや下回っています。学校休業等で、互いの考えを伝え合い認め合う活動が十分にできなかったことも影響していると考えます。引き続き、児童支援コーディネーターを中心に、教職員が丸となって児童の心に寄り添う支援体制の強化と対話による学びの充実を図っていききたいと考えております。

④ 地域に根ざした特色ある学校づくり

今回の調査では「地域の行事に参加している」「地域や社会をよくするために何をすべきか考える」は、全国平均を下回りました。「キャリア在り方生き方教育」の推進や「生活科」「総合的な学習の時間」での地域に関連させた活動への取組をさらに進め、自分たちの地域や社会に目を向け、社会の一員であることを自覚させていきたいと考えております。また、コミュニティスクールとしての活動をはじめ、栽培活動、ゲストティーチャーによる学習支援なども活用しながら、特色ある教育活動への取組を進めていきたいと考えております。

【今後の取組】

基礎・基本の習得を図るために、個に応じた学習支援体制を整えてまいります。さらに、主体的・対話的な学習を保障するために、教職員の研修等の内容を充実させ、授業力向上を図り、国語の学習における数値が、今年度以上になることをめざします。

「いじめはどんな理由があっても許されない」ことへの意識を高めるためにも、共生*共育プログラム等人権尊重教育をより推進し、自己肯定感を高め、安心できる人間関係づくりを進めてまいります。さらに、児童が主体的に取り組む特別活動を充実させながら、自分自身を見つめる機会や成長を実感できる体験活動を計画的に取り組んでまいります。

引き続き、学校・保護者・地域が一体となり教育活動を進め、児童の「自尊感情」や「自己有用感」を高めていけるよう努めてまいります。

【教育委員会から】

南河原小学校では、児童理解を深め、基礎的・基本的な学習の定着や、個に応じたきめ細かい指導の充実を図っており、児童が活躍できる授業の工夫に日々取り組んでいます。心の教育を大切にした教育活動が、児童の自尊感情・自己肯定感を育み「人の役に立つ人間になりたい」「自分でやると決めたことはやる」という前向きな児童の育成につながっていると考えております。 幸区・教育担当